

ロータリー2510地区奨学生月例報告

留学先イタリアフィレンツェ

2022.08.31

清水一智子

イタリアに来て、もうすぐ半年が過ぎようとしています。8月はイタリアの季節の変化を感じることができました。8月上旬はまだまだ夏本番、本当に暑くてエアコンがない部屋なので保冷剤で冷やしながら過ごしたりと、工夫しないとすぐに熱中症になってしまうほど暑い日々が続きました。それと同時に中旬に近づくにつれ、夕立や雷を伴う大雨、短時間にドツと降る雨の日も増えました。その雨の回数ごとに少しずつ少しずつ最高気温が下がっていき、秋に近づいているなあと感じました。季節の変わり目は曖昧ですが、日本の四季の移ろいとは違う気候の変化を感じることができ、これこそ長期滞在しているからこそその経験だと思います。これからは地中海性気候特有の秋と冬の雨季へ突入していきます。

8月10日、Veronaの野外歌劇場Arenaにてトゥーランドットを観劇してきました。ロシア出身の世界的ソプラノ、アンナネトレプコがトゥーランドットを演じるということで、絶対に行きたかった公演です。今までYouTubeやDVDで観ていたアンナネトレプコを生で聴ける機会が訪れるなんて夢のようでした。出てきた瞬間のオーラ、存在感、そして歌声...忘れられません。Veronaの帰り、まっすぐフィレンツェに帰るのがもったいなく思い、初めてミラノに行ってきました！歴史的建造物と共存している、ビルなどの現代的な建物。1300年代に栄えたフィレンツェとは全く違う雰囲気を感じてきました。夏のvacanzaの時期はスカラ座でのオペラ公演はないのですが、スカラ座博物館は開いていたので、劇場の中にあるシャンデリアの電球替え工事をしていて、貴重なものをみる事が出来ました。

来月はまた新たに受験を控えています。結果がどうなるかは分かりませんが、常に最善を尽くす後悔のない行動を心がけて日々頑張ります。







